

受付番号 No. 3

令和 6 年 11 月 25 日 午前 ~~午後~~ 2 時 55 分受領

令和 6 年 11 月 25 日

日出町議会議長 金元 正生 様

議員番号・氏名 5 番 豊岡 健太

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
Ⅰ 防災・減災について	Ⅰ 近年、全国各地で自然災害が多発・激甚化しており、大分県を含む九州は梅雨前線の影響を受けやすく、台風の通り道でもあることから豪雨災害が起こりやすいと言われている。 また、南海トラフ地震は今後 30 年以内に 70～80%の確率で起こると予想されており、予断を許さない状況と言える。 そこで、日出町の防災・減災について、新町長と執行部の考えを問う。	① 町長は公約で、「防災・減災で災害に強いまちづくり」を掲げているが、具体的構想は。 ② 町長の公約にある「道路や水道耐震化などインフラ整備」も、防災・減災に深く関わってくるものと考ええる。水道施設や水道管の耐震化の具体的方針とスケジュールは。また、予算の見込みと財源は。 ③ 避難所の冷暖房器具の設置状況、燃料の備蓄状況は。 ④ 防災専用のものではなく、災害時にも役立つ普段使いの日用品であるフェーズフリー商品を積極的に導入すべきであると考えるが、現状と今後の方針は。 ⑤ 11 月に開催された福祉文教常任委員会において、「災害時ペット同行・同伴避難ガイドライン」が策定される説明があったが、訓練を実施しては。 ⑥ 日出町で大規模災害が発生した場合に備え、10 月の亘理町の視察を受け、被災児童・生徒へのメンタルケアは今後どのように取り組む方針か。 ⑦ 被災時の文化財保護・復旧の考え、備えは。	

第 34 号

6 年 11 月 25 日

大 分 県
速見郡日出町

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
2 産婦人科誘致について	1 平成19年に産婦人科が閉院して以降、町内に産婦人科は無い状態が続いている。令和6年3月に公表した「令和5年度日出町総合計画の進捗状況等に関するアンケート結果報告書」の子育て支援に関する自由意見にも、産婦人科の誘致を望む声が多く寄せられている。町長及び担当課も、分娩可能な産婦人科の必要性は認識していると思うが、見解と今後の方針を問う。	① 直近10年間の平均出生数は。 ② 県内で分娩可能な医療機関が無い自治体は。 ③ 産婦人科誘致に対する町長の思いは。 ④ 全国の他の自治体では様々な支援策を打ち出し、産婦人科を誘致しているが、日出町の方針は。 ⑤ 産婦人科誘致の課題はどう考えているか。	